

# 法政大学キャリアデザイン学会 研究会 2022年度 第1回

研究報告テーマ

## 文化人類学と人口学の融合的研究

日本における夫婦間のセックスレスに関する  
質と量のデータ分析を事例として

7月22日(金)

18:30~20:00

@ZOOMによるオンライン開催



国際基督教大学 上級准教授

森木美恵先生

ペンシルバニア州立大学(人類学、人口学)にて2007年に博士号(Ph.D.)を取得。  
日本大学人口研究所を経て、2009年より国際基督教大学(ICU)に着任。  
文化人類学の中で人口人類学を専門とし、マクロの人口動態と人びとの価値観の相互作用について研究。質的データと量的データを融合的に駆使した論文執筆を試みている。

代表作: Moriki, Yoshie, Kenji Hayashi, & Rikiya Matukura (2015) "Sexless Marriages in Japan: Prevalence and Reasons." In Naohiro Ogawa and Iqbal. H. Shah (eds.), *Low Fertility and Reproductive Health in East Asia*. (International Studies in Population, Vol. 11). Dordrecht: Springer, pp.161-185.

Moriki, Yoshie (2017) "Physical Intimacy and Happiness in Japan: Sexless Marriages and Parent-Child Co-sleeping." In Wolfram Manzenreiter and Barbara Holthus (eds.), *Happiness and the Good Life in Japan*. London & New York: Routledge, pp.41-52.

Konishi, Shoko, Yoshie Moriki, Fumiko Kariya, & Manabu Akagawa (2022) "Casual Sex and Sexlessness in Japan: A Cross-Sectional Study." *Sexes* (3):254-266.



お申し込みはこちらのQRコードから

<https://forms.gle/2Z6C3tTZ1rEN23p58>

研究会運営委員: 斎藤嘉孝